

兵庫区高齢者みまもり応援団だより



いつも兵庫区の見守りにご協力いただきありがとうございます。

今回は、神戸まつり「はっぴいひろば」に出店した様子と MCI(軽度認知障害)についてご紹介します。

300 人が来場！はっぴいひろば出店レポート



今年も湊川公園で開催された「はっぴいひろば」に兵庫区内のあんしんすこやかセンターと兵庫区保健福祉課でブースを出店しました。今年は好天に恵まれ、小さなお子さんからご高齢の方まで幅広い年代の 300 人を超えるたくさんの方にご参加いただき、大賑わいの 1 日となりました。ブースでは「にんちしょうクイズ」のほか、初の試みとして「みまもりキーホルダー・みまもりシール」の体験コーナーを実施。クイズでは真剣に悩んでいる方も多く、体験コーナーでは実際に多くの方に電話をかけてもらう体験をしていただきました。



参加者の声

ブースを回る前と後のアンケートで「認知症に対するイメージが変わった！」という方がとても多く、心強い結果となりました。

認知症に対するイメージがどう変わったかベスト 5

- 1位 •地域みんなで見守る
- 2位 •相手の気持ちに寄り添うことが大事
- 3位 •対応方法がわかった
- 4位 •否定しない
- 5位 •連絡することが大事

兵庫区みまもりキーホルダー

兵庫区にお住まいの見守りが必要な高齢者の方に無料でお配りしています。お名前や緊急連絡先を書いて、いつものバッグや杖に付けておくだけ。外出先で困ったときや緊急のときに、周りの人がこのキーホルダーを見て、すぐにご家族や相談窓口に連絡することができます。



神戸市みまもりシール

認知症と診断された方が行方不明になったとき、迅速な身元確認と保護につなげるためのシールです。発見者がシールのコードをスマホで読み取り、コールセンターに連絡すると身元が確認され、警察の保護につながります。



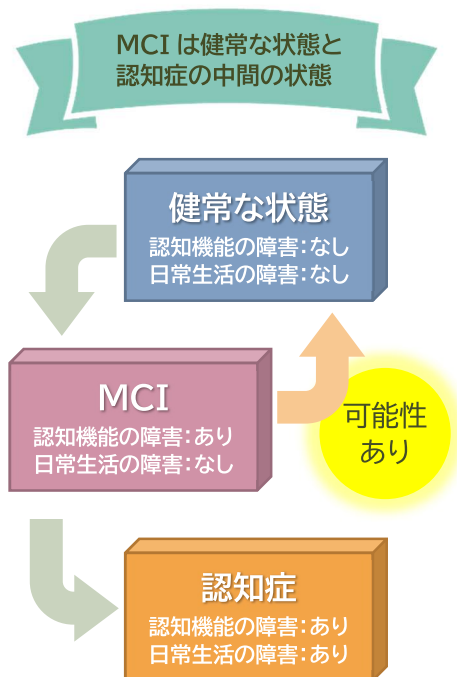
最近よく聞くMCIってなに?!

MCI(軽度認知障害)とは、認知機能は少し落ちているものの、買い物などの日常生活は問題なく自分でできる「認知症の一手前」の状態です。

「最近物忘れが増えた気がする」「名前がすぐに思い出せない」これは年齢のせいだけでなく、MCIの状態かもしれません。早めに気づいて適切な対策をすれば、進行を遅らせたり、元の健康な状態に戻る可能性もあるので、早期発見が大切です。

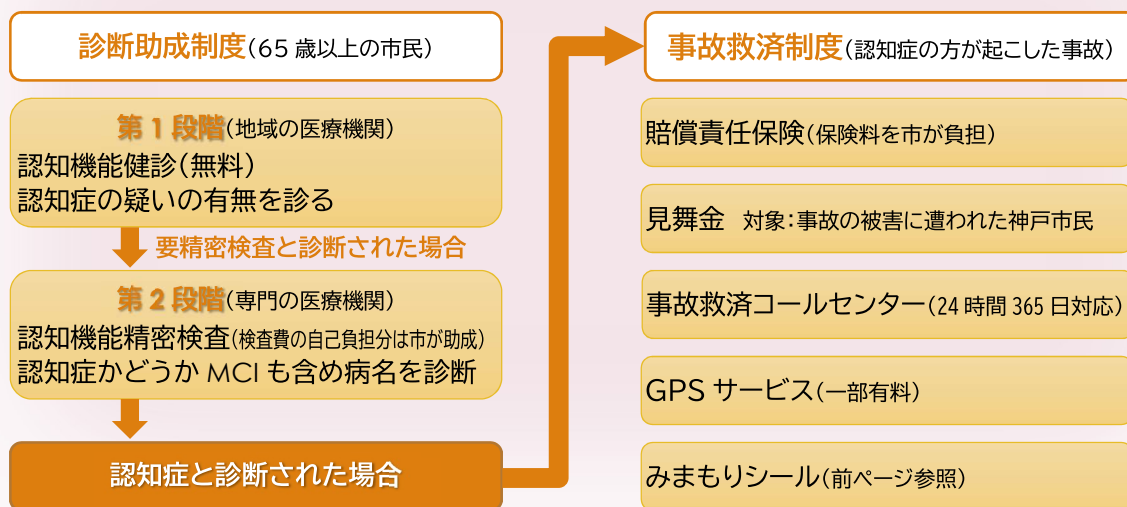
気になる変化は早めに医療機関に相談を!

「年のせいかな」と一人で悩まず、まずは専門家へ気軽に相談してみませんか?今回は、早期発見を無料で応援する神戸市の仕組み「認知症神戸モデル」をご紹介します。



認知症神戸モデル

認知症の方やご家族が安心・安全に暮らしていけるよう認知症の早期受診を支援する「診断助成制度」と、認知症の方が外出時などで事故に遭われた場合に救済する「事故救済制度」を組み合わせる実施する、全国初の制度です。



編集後記

今回は、MCI と認知症神戸モデルについて紹介しました。認知症になっても地域で暮らし続けるためには、認知症の正しい理解と住民同士の支え合いが不可欠だと感じました。みまもり応援団の皆様のご協力に改めて感謝いたします。猛暑日が続き熱中症等、体調に気を付けてお過ごしください。次回もお楽しみに♪

ちょっと気がかりなことに気づいたら
地域のあんしんすこやかセンターまで!

